



「主体的・対話的で深い学び」を実現するために

校長 奥 貴浩

10月27日日曜日に、学校と校区（地域）の合同運動会が、好天の下で行われました。運動会を実施するにあたり、10月24日には雨天の中でのテント設営やその他の準備、当日は運営にかかわる各係や地域種目の進行等、多数の保護者や地域の方々に積極的に携わっていただきました。おかげさまで大きなトラブルも無く、計画通り（むしろ予定よりかなり速く）進行することができました。本当にありがとうございました。

地域と合同での実施が5年ぶりということで、たくさんの地域の方から「いい運動会だった。」「楽しかった。」などのお言葉をいただきました。日頃から、本校の教育活動に多大な御理解と御協力をいただいている地域の方々に、少しでも恩返しができることを大変嬉しく思います。今後とも、地域と保護者、学校が一体となって子供たちの学びを支えていけるよう、お力をいただけるとありがたいです。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、毎年本県で設定している11月1日から7日までの「地域が育む『鹿児島県教育』県民週間」に、本校も「学校自由参観」を実施しました。この4日間（土日祝日を除く）で、たくさんの方々が授業の様子を参観してくださいました。そして、授業に関する感想をたくさん寄せていただきました。その中に、「子供が授業中に席を立てて友達と話をしている。」「一昔前は、『授業中は背筋をピンと伸ばして先生の話をよく聞く。』というのが徹底してつけられていたが、今はどうなのか?」といった内容の感想が複数見られました。そこで、今回は、時代を経た学習スタイルの変革について少しふれたいと思います。

私たち教師は、「全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため…※文部科学省ホームページより」文部科学省が定めた「学習指導要領」を基にして、各学校の実態に応じた教育を推進しています。この学習指導要領は、これまで約10年おきに改訂されてきました（下の表を参照※大きな変革のある年を抜粋）。

改訂年	改訂の特徴・趣旨等
1968	高度経済成長に対応した教育の現代化。科学技術など、知識重視の教育。結果、過剰な受験戦争を生んだ。
1998	いわゆる「ゆとり教育」。知識の詰めこみでなく、だれもが学習についていけるような「基礎・基本」の重視。
2008	「ゆとり教育」の結果、学力の低下が顕著に現れたために「思考力・判断力・表現力」の育成を重視。グローバル社会を生き抜くために必要な、外国語を習得する時間を新設(小学校)。
2017	学んだことを、社会に出ても通用する知識として定着させるために「 <u>主体的・対話的で深い学び</u> 」を重視。世界中で劇的に進化したICTに対応できる力の育成。「モノ創り」に必要な「STEAM教育」の推進。等々

※STEAM…科学・技術・工学・芸術・数学のスペルの頭の部分を組み合わせた造語

2017年度に改訂した（現行）の学習指導要領では、子供たちの「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための授業改善を求めています。それまでの授業は、教師が課題を提示した後、子供たちが自分の力（グループ学習の場合もある）で課題を追求し、最後は教師が答え合わせをしたり、丁寧に解説したりして完結するというパターンが基本でした。しかし、これでは子供たちが受け身になりがちで、学んだことをさらに深めようという意欲が起りにくいと言います。その改善策「主体的・対話的で深い学び」（または「学習者（子供）主体の授業」）が下の通りです。

【子供の姿】

- 一人一人がそれぞれのめあてをもち、追求する手段（書籍かタブレットかなど）を自分で決めて課題に取り組む。
- 課題解決中に壁にぶつかったら、教師よりもまず友達に助けを求める。助けを求められたら、「答えは教えない」などのルールに則って解き方などを説明する（説明することで自分の学びがさらに深化する）。

【教師の姿】

- 子供たちが、自分の力で学びたいような課題や問題などを提示する。
- 授業で身に付けなければならない基本的なことなど、正しい学びができるように誘導する。ただし、子供たち同士の学びが止まらないように発言は最小限にする（子供たちの学ぶ様子を見守る）。

これらをふまえた授業では、「課題解決の手段が一人一人違うので、子供たちが授業中に違う活動をしていることがある。」「分からないことを友達に教えてもらいたい時や、自分の考えと友達の考えは同じなのか違うのかを確認したい時などに自由に席を立てて会話をする。」という場面が必然的に出てきます。授業参観をされる際は、「これからの予測困難な時代を、自力で生き抜くために必要な学び方」という視点で御覧ください。



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

今年度の櫛小の県民週間は行事や特色ある活動が盛りだくさんでした。また、11月1日・5～7日の4日間、2～4校時を「学校フリー参観日」に設定したところ、保護者や地域の方々、校区外の方の来校がありました。子どもたちの学習の様子を参観していただくことができました。誠にありがとうございました。いくつかの学習活動を紹介します。

SDGsカードゲーム(総合的な学習の時間)

株式会社「無尽灯」代表取締役の黒木ゆき氏を講師招聘し、3～6年生が学びました。SDGsに関連した自分たちのグループが達成すべき「ゴール」を設定し、そのゴールを目指すカードゲーム形式の学習でした。



森林環境教育(総合的な学習の時間)

大隅地域振興局の方を講師招聘し、杉の育成・伐採までの年月(林業)について説明を聞き、「木」のつく漢字クイズに挑戦しました。その後のメインの活動は、杉板を利用した「オリジナル時計」作りに挑戦。みんな仕上げました。



「心の教育」の日(「道徳」一斉授業)

学校評議員「授業参観」も兼ねての授業でした。1・2年「学校を休んだ」、3・4年「同じ仲間だから」、5・6年「真由、班長になる」という教材を通して自分を見つめ、自分の生き方についての考えを深めていました。



校区高齢者の方々と「GG交流会」

3・4年生と一緒にグラウンド・ゴルフ(GG)を楽しみながら交流をしました。始めに子どもたちから自己紹介をしてゲームをスタートしました。さすが!の腕前の方々ばかりでした。終わりには、交流

の感想やお礼の言葉を皆さんに伝えました。



「認知症サポーター」養成講座Ⅱ

市社会福祉協議会が進める「認知サポーター」養成講座がありました。昨年に続いて2回目の学習でした。3～6年生が学びました。認知症理解についての説明を聞いた後、認知症の人と家族がやりとりする「寸劇」を観て、認知症の人にどんな言葉かけをすればよいか、縦割りグループごとに考え、発表し合いました。

「優しく話しかける。」「間違えたことを強く注意しない。」など、グループで出た意見を発表し合いました。



11月は「校内読書月間」でした

市内読書グループ「ちゃいはな」さんをお招きした「読書集会」を行いました。始めは、図書委員によるパネルシアター「おばけマンション」でした。関係のあるクイズも出題されました。続いて、「ちゃいはな」さんによる「ニャーゴ」(大型絵本)、「花さき山」(ブラックシアター)、「めのまどあけろ」(故谷川俊太郎氏の絵本)の読み聞かせがありました。



12月の行事予定

- 8日(日) 校区自治会対抗グラウンドゴルフ大会(午後)
- 10日(火) さんぺい号来校
- 13日(金) 3校合同「音楽鑑賞会」(岩南小)
- 14日(土) 保護者による「仕事紹介」ワークショップ
- 20日(金) PTA交通安全指導(朝)
- 22日(日) PTA(兼公民館「3世代交流」)門松づくり(午前)
- 24日(火) 2学期終業式
- 27日(金) 仕事納め

頑張りに拍手!

- 市「税を考える週間」作品展 書道の部
【市税務課長賞】
5年 椎屋 諒亮
市小学校陸上記録会
【男子100m走 第6位】
6年 中濱 一心